



**東北における看護学生の能力開発、リーダーシップの育成を図る
 「TOMODACHI J&J 災害看護研修プログラム」二期生が決定**
 ～東北被災3県（岩手、宮城、福島）から12名の参加者が決定～

ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ^{※1}（本社：東京都千代田区、以下ジョンソン・エンド・ジョンソン）は、日米の次世代リーダー育成を目指す米日カウンシルージャパンが運営する TOMODACHI イニシアチブ^{※2}（会長：アイリーン・ヒラノ・イノウエ、以下 TOMODACHI）とのパートナーシップにより企画・実施する「TOMODACHI J&J 災害看護研修プログラム」の第二期参加者を決定しました。

ジョンソン・エンド・ジョンソンは、世界共通の行動規範「我が信条(Our Credo)」に掲げる地域社会に対する責任の取り組みの1つとして、TOMODACHI の教育を通じた被災地復興支援に賛同し、2015年から2017年までの3年間にわたり、東北の災害医療や看護を専攻する看護学生の専門知識の深化、次世代を担うリーダーシップの育成を目的として、本プログラムを支援しています。

2015年の実績を踏まえ、第二回を迎える今年は、募集の対象地域を宮城県から東北3県（岩手、宮城、福島）へ拡大し、厳正なる審査を経て、新たに12名の参加者を決定しました。

本プログラムは、主に①事前勉強会、②米国スタディーツアー、③事後報告会の3部構成となっています。事前勉強会は、6月25日より国内2ヶ所（仙台、東京）で開催。8月には2週間にわたる米国スタディーツアーを実施し、ニューヨークとワシントン D.C.における災害医療や看護を専門とする施設や団体を訪問します。9月以降、米国で学んだ最先端の災害医療や看護の現状や取組み、また、日米の違いを共有すべく、東北地域や東京など国内各地で事後報告会を順次開催します。

本プログラムを通じて、東日本大震災を経験した参加者が次世代を担うリーダーとしての素養を身につけるだけでなく、自身の経験や教訓、学びを全国に広めることで、日本の災害看護全体の基盤強化に貢献することを目指します。

-記-

「TOMODACHI J&J 災害看護研修プログラム」今後のスケジュール（予定）

▼事前勉強会（6月-7月）	災害看護専門家によるワークショップや渡航前のオリエンテーション、昨年参加者との交流等を予定 ・仙台：6月25日（土）～26日（日） ・東京：7月 9日（土）～10日（日）
▼米国スタディーツアー（8月）	約2週間、ニューヨークとワシントン D.C.における災害医療・看護の専門施設や団体を訪問予定。現地地で最先端技術を学ぶ他、東日本大震災での経験を共有 ・8月 6日（土）：日本を出発、同日米国着 ・8月20日（土）：米国を出発、翌日21日（日）日本着
▼事後報告会（9月-11月） 【予定】	米国スタディーツアーでの学びを全国に共有 ・仙台：9月17日（土） ・郡山：10月15日（土） ・盛岡：11月 5日（土） ・東京：11月26日（土）～27日（日）

以上

※1 ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループについて：<https://jni.co.jp/>

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社（コンシューマー カンパニー、メディカル カンパニー、ビジョンケア カンパニー）、ヤンセンファーマ株式会社で構成。

※2 TOMODACHI イニシアチブについて：<http://tomodachi.org/ja/>

TOMODACHI イニシアチブは、東日本大震災後の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指す公益財団法人 米日カウンシルージャパンと東京の米国大使館が主導する官民パートナーシップです。日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、より協調的で繁栄した安全な世界への貢献と、そうした世界での成功に必要な、世界中で通用する技能と国際的な視点を備えた日米の若いリーダーである「TOMODACHI 世代」の育成を目指しています。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

米日カウンシル—ジャパン TOMODACHI イニシアチブ

広報担当：堀田、野口

TEL: 03-4510-3400 Email: tomodachi@usjapanCouncil.org

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社についてのお問い合わせ

コンシューマー カンパニー コミュニケーションズ & パブリックアフェアーズ 担当：佐藤

TEL: 03-4411-7188